

上越市議会 各層との意見交換会 開催記録

高田のまちづくりについての意見交換会



- 【日時】 平成31年1月26日(土)
18:00～20:25
- 【会場】 町家交流館高田小町

高田のまちづくりについての意見交換会

テーマ「高田のまちづくりの課題と将来像について」

○高田のまちづくりの現状と課題について

	意見・質問
1	まちづくりに対してスピーディに行動するため、株式会社を立ち上げイベントの運営を行っている。会社として利益を上げなければいけないが、収益を上げるのに苦労している。
2	後継者がいないことで店を辞めてしまう人がいる。また、客層も高齢化が進み、客足も少なくなったことで店を辞めるところが増えている。
3	イベントやツアーなど色々な企画をしてきたが、この活動を続けていくこと、次世代につないでいくことが課題となっている。
4	団体の活動やまちづくりは全体のバランスが大事であり、どこか一部だけが盛り上がっていても良くはならないと感じている。まちづくりを全体につなげることを考え活動している。
5	まちを作る「動く人」を作らないと活性化しないと思う。人が活性化することでまちも活性化する。人材育成が課題だと考える。
6	移住してくる人が多いところは「面白そう」と思える町だと思う。高田も面白そうと思える町だと思うが、移住するには働く場所がないと難しい。もっと移住のハードルが下がるような支援があればいいと思う。短期間シェアハウスに住んでもらうような、気軽に体験できるようなものがあればいいのではないかと考えている。
7	青苧に興味持ったが誰も知る人がいなく、知っている人がいても教えるのは苦手、と言って話が聞けないことがあった。教えてくれるような「先生」のような人が欲しいと感じている。また、移住者が生活していく上で、雪かきのことを教えてくれる人などそういったことを教えてくれる人も欲しいと思う。
8	町家の修繕や町家の案内等を行っているが、古い町家を修繕しても、それ以上に取り壊される町家が多い。
9	雁木通りミュージックフェスティバルなどのイベントは盛り上がりが良いが、一過性の盛り上がりで終わってしまった。朝市はもっと盛り上げるべきであり、野菜などだけでなく古着や骨董品も売れるようにした方がいいと思う。
10	上越市はサイクリングには良い所であり、海あり山ありで、糸魚川市まで含めたら日本有数の場所だと思う。もっとPRすべきだと思う。
11	雁木通りが衰退している状況に危機感をもっている。雁木は車とダイレクトに接さず子育てにはとても良く、また地域全体が集合住宅のようなになっておりとても面白いと思う。そういった良さ・価値を言葉にしていかなければいけない。市民団体が活発に活動するだけでなく、法整備や景観条例など定義していかなければ衰退してしまう。

意見・質問	
12	高田世界館は今までは映画を好きな人以外には波及力がなかったが、周りに民泊やカフェが出来るなど少しずつ地域に盛り上がりが出てきている。まちに参入できる人を増やしたいと思っており、映画を見る人以外でもふらっと立ち寄るような人を増やせればと考えており、それについては世界館の前の広場の活用が大事である。
13	交流人口を増やすことは重要だが、一番良いのは住む人が増えることである。単に人を集めるだけでなく、高田で住む理由を丁寧に洗い出していけないとまち全体が再生していかないと考えている。

○高田のまちづくりの将来像について

意見・質問	
1	イベントを計画するメンバーが15年間ほとんど変わっていない。外部から入ってくる人もいるが、下の世代となかなか関わりができていない。組合や非組合など関係なく、もっと人のつながりを活性化したい。
2	新興住宅街が増えるのではなく、空き家のリノベーションなど、中心市街地の魅力を高めてくれると思う。
3	古いものを保存するだけでは無くなってしまふ。残すためには活用していくのが重要である。イベントへの補助金は重要だが、効果は一過性のものであるため、今後何十年も残るようなお金の使い方をしてほしい。電柱の地中化や景観を整備・保存していく取組をすることで、外から商売をしてみようという人が増え、まちが活性化していくと思う。
4	買物弱者を何とかして欲しい。スーパーを新たに誘致するのは無理かもしれないが、そこで話が終わってしまっている。もっと真剣に話し合いをして欲しい。
5	高田の駐車場を無料化、バスも無料にして欲しい。それで人の流れは変わると思う。高田の町家は土地がないが、各区には休耕地が増えており、そこを市民農園のようにし、無料でバスを使えば人の流れはできると思う。
6	上越、妙高を深夜に巡回するようなバスを作れば人の流れができるのではないかと考えている。
7	海外では町に車が入れなくなっており、歩行者が楽しい町になっている。歩くこと、歩行者天国をもっと進めるべきである。高田小町、高田世界館、今井染物屋は高田の目玉であり、世界館の広場をスタートにして古き良き街を再現した一大テーマパーク、子どもも大人も楽しめる娯楽エリアにしたいと思っている。世界館の前の広場をもっと活用して川越の街づくりみたいにするべきではないか。
8	高田は歴史ある町であり、多世代が住む町である。人材が育つためには高齢者や色々な世代と交わることが必要だと思っている。

○その他意見

意見・質問	
1	まちづくりは、まちづくりをしようと思って活動するのではなく、それぞれの個人がやりたいことをやるのが重要であり、それが他の活動とつながることによってまちが作られていくと思う。

意見・質問	
2	小学生の頃は図工であったり畑で野菜を作ったりするが、中学生になると体育系の部活動か受験の勉強かで選択の幅が狭まる。もっと商業、工業、農業に関する部活動を行うべきであり、そういったことで高校での選択の幅が広がる。農業や工業を教える人は地域の人、学校外の人であり、そういった人たちとつながりができれば子どもが地域に残る確率も高くなると思う。
3	上越市では20年くらい前からブックスタート事業を行っていたが、現在は事業を行っていない。もっと子どもに目を向けた施策をお願いしたい。